

アクサ生命保険と
健康経営推進へ協定

浜松市

浜松市は5日、アクサ生命保険(本社・東京都)と「健康経営の推進に関する連携協定」を締結した。両



健康経営の推進に関する連携協定を締結した中野市長(左)と高倉支社長(右) 浜松市役所

者が連携して、従業員の健康づくりを企業の安定経営につなげる「健康経営」を市内企業に普及し、実現を後押しする。

健康経営アドバイザーの資格を持つ同支社の社員136人が営業活動などで市内の企業や団体を訪問する際、経営者らに健康経営に関する情報を発信したり、助言したりして、経済産業省が推奨する「健康経営優良法人認定」の取得を支援する。2023年度末公表

の市内認定企業は184社で、市は24年度末に220社以上に増やすことを目標に掲げている。

市役所で開かれた締結式

で中野祐介市長と高倉正人静岡支社長が協定書を交わした。中野市長は「産業人材不足が課題となる中、健康経営による生産性や企業価値の向上が人材確保にもつながる。協定締結を機に市内企業の健康経営をさらに推進したい」と期待を寄せた。高倉支社長は「浜松市が目指す『予防・健幸都市』の実現に少しでも貢献できるよう全力で取り組みたい」と述べた。

市が官民連携で進めている健康関連事業「浜松ウエルネスプロジェクト」の一環。同社と県内自治体との同様の協定締結は、三島市に次いで3カ所目。